

カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター
実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研㈱

A. 生産管理		生産現場の問題解決		
生産・開発計画				
コースのねらい		生産管理を理解し、生産現場の問題を発見、解決できる知識、技能を習得する。		
講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	生産活動の基本	(1) 生産活動の基本 ・生産活動の基本と様々な生産方式を解説する。 ○経営理念、組織活動 ○様々な生産方式と生産計画 ○製造原価と製造技術 ○目で見る管理と5S (2) 生産現場の問題とは【演習①】 ・日本のものづくりが置かれている状況を説明して、時代変化に対応できるものづくりとはどのようなものかを解説する。 ○少品種大量生産から多(変)品種少量生産へ ○在庫削減とリードタイム短縮 ○生産性を悪化させている属人化したものづくり ○自社の課題を考えよう	1.5
	2	現状分析とムダの発見	(1) ムダとは何か ムダとは何かを認識する。標準作業と各種帳票について解説して、ものづくりで管理すべき項目について解説する。 ○ものづくりで使用する帳票 ○様々なムダと能率と稼働率 ○作り過ぎのムダ、在庫のムダ ○ダンゴ生産と平準化生産 (2) 現状分析【演習②】 ・様々な現状把握と分析手法を理解する。品質や生産性の現状を正しく把握して対策して改善効果の大きい問題を絞り込む。 ○6シグマ管理とQC7つ道具 ○IE手法による生産性改善 ○なぜなぜ分析 ○ものと情報の流れ図で課題を俯瞰する (3) ムダの発見【演習③】 ・標準作業、標準工数設定についての本質的な意味を理解する。標準作業をベースとしたものづくりで変化やばらつきに着目して問題点、課題を発見するコツを解説する。 ○標準作業ベースにした現場改善 ○日報の改善、隠れた事象を文章・グラフによる可視化する ○意識改革、作業者の声に傾聴する ○ムダ発見のヒント	2.5
	3	生産現場の改善	(1) 改善の手順【演習④】 ・変化点管理やデータのばらつきに着目した活動、品質、生産性改善活動の概要と、基本原則や応用手法を解説する。 ○作業改善と設備改善 ○品質データ、仕掛かり在庫、手持ち ○要素作業分析 ○在庫削減のアプローチ ○他部門を巻き込んだ改善 (2) 効果的な改善のためのポイント【演習⑤】 ・問題点、課題を発見するコツを学ぶ。徹底した課題の可視化、共有化で継続改善を実行する職場を目指した行動計画を作成する。 ○人材育成と多能工化 ○リードタイム短縮でものづくり体質を強化する ○トレーサビリティと製造データのデジタル化のすすめ ○属人化した作業に着目、暗黙知をデジタルデータ化する ○課題の絞り込みと改善の行動計画を作成する	2.0
	演習		個人、グループワークを実施。自社、自職場での課題を考えて解決方法を考える。 ① 自社、自部門のものづくりの課題を抽出する。 ② ものと情報の流れ図の作成 ③ 課題発見の演習 ④ ラインバランス、編成効率などの改善演習 ⑤ 自社の課題を抽出して、強化すべき課題の解決のアプローチ方法を考え、行動計画を作成する。	
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント

・生産活動を俯瞰して、生産管理と改善の必要性を理解し、儲かるものづくりのための一人一人の役割を理解できるようになっていただきます。
 ・生産革新活動の基本を学び、自社のものづくりの課題を抽出して優先して取り組むべき課題は何かについて気づくことを狙います。
 ・標準作業をベースとしたものづくりを理解して、自社で優先して取り入れていくべきものは何か考え、使える改善手法について紹介します。
 ・改善プランを作成でき改革をリードできるような基本的なスキルを身につけていただきます。

講師から一言

生産管理を理解し、生産現場の問題を発見し解決するための知識を習得する研修です。工程分析と作業分析を演習を通じてより深く理解します。